

令和4年度 第3回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和4年度 第3回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和5年2月17日（金）午前10時00分から午前11時10分まで	
開催場所	愛西市役所 北館2階 会議室2-1・2-2	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	0人	
公開・非公開	公開	
傍聴人の数	0人	
議題	(1) 第3次愛西市教育大綱について (2) いじめ・不登校の現状について (3) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について (4) その他	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	次第 資料番号1 「第3次愛西市教育大綱（案）」に対する市民意見募集結果 資料番号2 第3次愛西市教育大綱 資料番号3 愛西市立小中学校適正化事業の経緯と今後の予定について 資料番号4 愛知県内の小中学校統合一覧 総合教育会議 配席図	
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
令和5年3月24日	署名者 愛西市市長 日永 貴章 愛西市教育委員会 水谷 朋和	

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
市 長	日 永 貴 章	
教 育 長	平 尾 理	
教 育 委 員 会 委 員	平 野 英 治	職務代理者
〃	杉 方 南 衣	
〃	水 谷 朋 和	
〃	大 竹 節 雄	
〃	難 波 知 里	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	鈴 木 睦	
(市長部局事務局)		
企 画 政 策 部 長	西 川 稔	
企 画 政 策 部 参 事	伊 藤 孝 一	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課 長	井 戸 田 悦 孝	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課	渡 邊 典 夫	
〃	東 山 祐 佳	
〃	山 口 遼	
(教育委員会事務局)		
教 育 部 長	三 輪 進 一 郎	
教 育 部 次 長	小 島 洋 志	
教 育 部 学 校 教 育 課 長	猪 飼 政 和	
教 育 部 生 涯 学 習 課 長	石 田 泰 弘	
教 育 部 ス ポ ー ツ 課 長	伊 藤 義 幸	
教 育 部 学 校 教 育 課 主 幹	吉 田 光 男	
教 育 部 学 校 教 育 課	坪 井 靖 史	
〃	重 村 みいみ	

会議経過

発言者	内 容
市長	<p>1. あいさつ</p>
事務局	<p>2. 審議事項 (1) 第3次愛西市教育大綱について</p>
事務局	<p>(資料1について説明)</p>
教育長	<p>「人と人との絆を大切に 心豊かで たくましく しなやかな人を育む」という理念を掲げているが、そのような人材を育むためには、子どもたちの日々の人と人との交流を含め、多様な価値観との出会いが必要不可欠である。これによって豊かさやたくましさ、しなやかさの育成が期待できる。教育部局は、この理念に基づく教育活動を推進していきたい。</p>
委員	<p>第2次教育大綱の4年間は、これまでよりも大きな変化が一気に来たと思っており、この後の第3次教育大綱の4年間も大きな変化が予想される。</p>
委員	<p>中学校の適正化問題や老朽化対策の問題、教職員の働き方改革など、今後の課題もかなりある。</p>
委員	<p>教育大綱の目標にある「一人一人の学びを支えるまちづくりの実現」に向け、厳しい財政の中であるが、学校を支える体制づくりや地域づくり、環境整備のための支援をぜひお願いしたい。</p>
市長	<p>当局としても、しっかり現状を把握しながら、特定財源等の確保をしながら進めていきたいと思っている。</p>
委員	<p>理念の中の「人と人との絆を大切に」は、まさしく第2次教育大綱期間中にはできなかったことである。新型コロナウイルスが瞬く間に広がり、当時、中学1年生の子どもたちは、中学3年生になるまでマスク生活をずっとしており、距離を取らないといけないという状況であった。今後もしかすると新しい病気が発生するかもしれないし、不測の事態がやってくるかもしれないが、これからずっとこの理念を根底にして教育をやっていただきたい。</p>
事務局等	<p>給食の無償化など、市として色々なことに尽力していただき、この3年間で色々な課題を解決しながら進んでいただいたことに感謝しつつ、これから大きなプロジェクトも始まってくるため、子どもたちが体験を通して、この理念をしっかりと体感できるような教育大綱であることを願う。</p> <p>(2) いじめ・不登校の現状について</p> <p>(資料に基づいて事務局から説明後、いじめ・不登校の現状について議論)</p>

事務局	<p>(3) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について</p> <p>(資料3・4について説明)</p>
委員	<p>現在、地区協議会が進められているが、地区ごとに非常に温度差があると思った。特に八開・立田地区は、統合等の問題があり、保護者等に全て納得していただき賛成をいただくことは難しいと思うが、丁寧に説明していただきたい。</p> <p>教育の問題だけではなく、防災等の意見も出てくると思う。プロジェクトチームの組織を活かし、丁寧な説明をお願いしたい。</p>
市長	<p>色々な情報や意見が出ているようだが、どこから発信された情報なのか未確定な部分もあると聞いている。教育委員会として、正しい情報をできるだけ伝えていただく努力をしていただきたい。</p>
委員	<p>今、地区の検討協議会がほぼ終了している状況であると思うが、これまでの記録を市のホームページで見させていただくと、会議に向けて多くの資料を準備していただいていると思う。</p> <p>本当に様々な視点から意見交換がなされ、方向性を協議していただいている状況である。</p> <p>記録を読むと、学校統合への疑問や不安等の意見がたくさん寄せられているように思う。その中には、防災や地域コミュニティの課題についての意見もある。</p> <p>今後、保護者説明会、地区説明会が実施されるが、その中で理解が深まっていくことを願っている。保護者や地域住民の不安をできるだけ取り除いて、理解や協力が得られるように、市長部局にも積極的に関わっていただき、進めていくことが大事である。</p> <p>平成27年後半に愛西市立小中学校適正規模等検討協議会が開催されたが、その際の合言葉は「夢のある学校を作ろう」であったと記憶している。</p> <p>生徒が通いたくなる学校、保護者が通わせたいと思う学校、そうした新しい学校づくりを目指せるように、教師や生徒、保護者、地域住民と行政が知恵を出し合っていくことが、これから大事になってくる。</p>
教育長	<p>現在、適正化、老朽化への対応をしているが、この対応がまちづくりに関係しているということをひしひしと感じた。</p> <p>例えば、佐屋・立田地区の協議会では、合併前の旧2町2村の枠組みではなく、子どもたちは生まれた時から愛西市民であるということ意識する必要があるという意見をいただいた。佐屋・佐織地区の協議会の方からは、学校名を変更しても良いのではないかという意見も出た。</p> <p>また、いつまでも昔の地域に縛られることなく、子どもたち含め、みんなが愛西市民であるということを考えていくための良いきっかけになるのでは</p>

	<p>ないかという協議が佐屋・佐織地区でなされた。</p> <p>「愛西市は一つである。どの地区の子どもたちも愛西市の子で、大事な子どもたちである。」というお話もいただいたので、私たちが肝に銘じて進めたい。</p>
	<p>(4) その他</p>
事務局	<p>(中学生体験学習事業について説明)</p>
委員	<p>コロナ禍で中止となった学校行事が少しずつ取り戻され、宿泊を伴う修学旅行なども行われるようになってきている。3年前に中学校3年生だった子どもたちは、大会も修学旅行も中止となり、本当に辛い思いをしていたことも思い出される。</p> <p>体験事業については、詳細な内容も明らかとなっていており、大変前向きに検討していただいたことに対して感謝している。</p> <p>度々のお願いにはなるが、保護者の負担が少しでも少なくなるようお願いしたい。</p>
市長	<p>保護者負担は、かなり議論させていただいた上で、決定させていただいている。</p> <p>後日、皆様方に改めて事務局から説明させていただくことになる。</p>
委員	<p>今までは現場の画像しか見てこなかったのが、今回は、本物を実際に体験していただくということになる。本物を見せる、体験することは、大変貴重な体験であると思う。</p>
市長	<p>参加される生徒たちが良かったと思っていただけると、我々としてはありがたい。</p>
事務局	<p>(部活動の地域移行について説明)</p>
教育長	<p>国全体で令和5年度から令和7年度までを1つの期間として、学校の部活動を縮小していくという動きがある。縮小はしたものの受け皿がないという状況になると、子どもたちを路頭に迷わすことになってしまう。</p> <p>教員が部活動の指導をやっている状況から、ヨーロッパ型の社会スポーツ、社会教育の方にシフトしていくにあたり、各種団体の育成ということも、この場で情報共有させていただきたい。</p>
委員	<p>実際、スポーツ少年団やクラブチームが徐々にでき上がって活動の幅を広げているところもある。大変厳しい状況ではあると思うが、市としても団体の支援や育成の方にも予算を組んでいただきたい。</p>

事務局	<p>学校側の状況もこれから確認していく必要はある。子どもたちが減っていくということは部活動の数も減っていくということになる。</p> <p>縮小の傾向が進むことに反して、地域でこんな支援を受けることができるなどの情報も拡散していただけると良い。部活動の地域移行が活発化すると、学校側としてもやりやすくなっていくのではないか。</p> <p>プロジェクトチームではないにしても、PR等も含め、少し力を入れていただけるとありがたい。</p> <p>以前から学校部活動の地域移行については、様々な情報等が国からも発信されている。その中で、令和4年12月に学校部活動及び新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドラインが示された。当初、我々が把握していた情報よりも少し遅れているような形になってきている。基本的な考え方としては変わっていないと把握している。</p> <p>また、検討等に関することについて、地域部活動の活動推進検討会議を設置させていただき、学校の部活動の状況や地域の受け皿をお願いできるような組織かどうかということについて検討及び検証を進めていきたい。</p> <p>令和4年8月と12月の2回に会議を開催させていただき、関係者の方々とお話を進めさせていただいているような状況である。</p>
市長	<p>受け皿の整備をもう少ししっかりと、情報発信をしていただかないといけない。地域の指導者の方々には、どうしたらいいのか困惑されている方もいるそうである。</p> <p>受ける方も学校もしっかりしていただかないと、しっかりしていないのに、こちらからやっていただきたいと頼むのもなかなか難しい状況ではないかと思っている。</p>
教育長	<p>何が問題かということの浮き彫りにするために、社会教育団体、社会スポーツ団体でそれぞれ集まって議論したことはないので、いずれにしても、そういう機会を持って何が課題でどうクリアしていくのかということについて、今後議論を進めていきたい。</p>
事務局	<p>3. 連絡事項</p> <p>第3次教育大綱については、3月中にホームページなどで公表させていただく。完成した冊子については、皆様方には公表の時期に合わせて、お渡ししたいと考えている。</p>